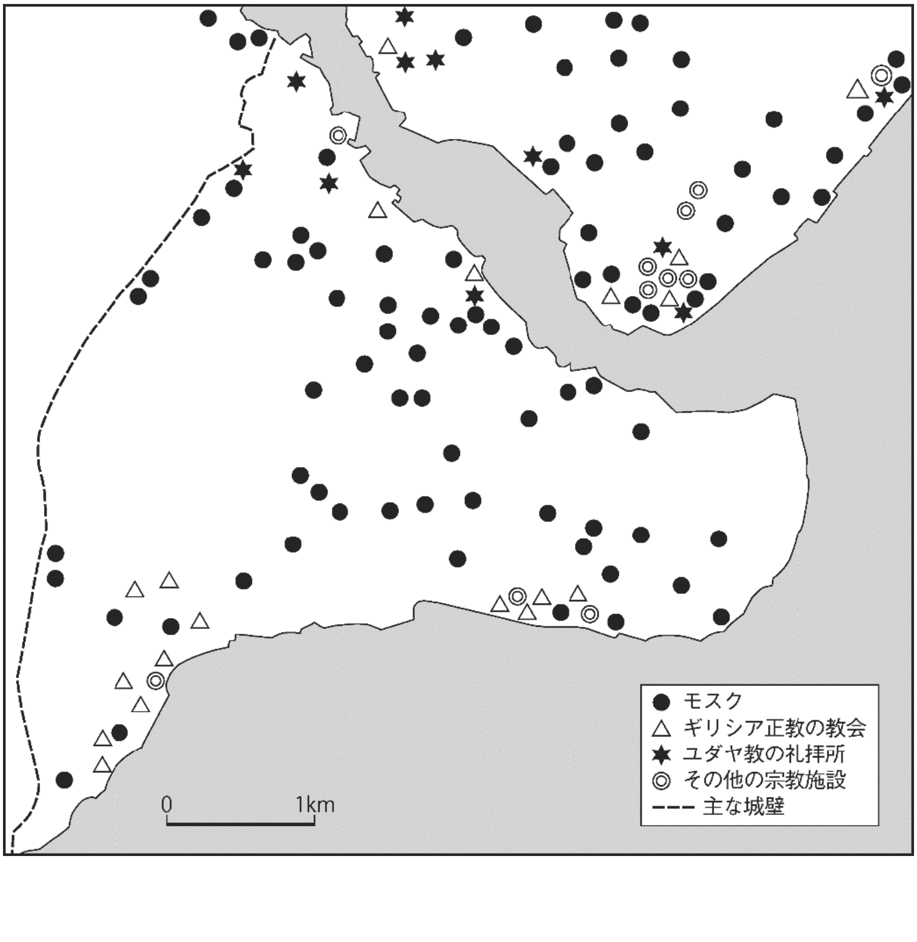
第２講　2025年度 試作問題 第2問

第２問　世界史探究の授業で，世界史上の都市を取り上げて班別学習を行い，各班で興味を持った都市について，資料を基に探究した。それぞれの班の発表に関連した後の問い（**問１～4**）に答えよ。（資料には，省略したり，改めたりしたところがある。）（配点　13）

問１　1班は，オスマン帝国時代のイスタンブルに興味を持ち，17世紀の各宗教・宗派の宗教施設の分布を示した**図１**を基に，**メモ１**を作った。**メモ１**中の空欄 ア に入る文**あ・い**と，空欄 イ に入る文X・Yとの組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 10

図１



メモ１

> **図１**の時代のオスマン帝国は，非ムスリム臣民を庇護民（ズィンミー，ジンミー）として遇して，［　ア　］。イスタンブルにおいては，住民は，それぞれの宗教施設の近隣に居住していたと考えられるので，**図１**の宗教施設の分布から，［　イ　］ことが推測される。

［　ア　］に入る文

あ　人頭税の支払いと引き換えに，一定の自治を認めた

い　人頭税を廃止し，ムスリムと平等に扱った

［　イ　］に入る文

X　キリスト教徒とユダヤ教徒が，分散して居住していた

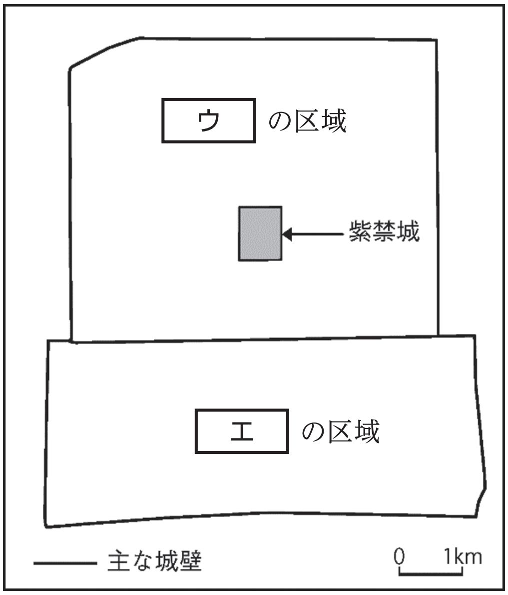
Y　キリスト教徒とユダヤ教徒が，それぞれ同じ教徒だけで一箇所に集中して居住していた

① あ―X
② あ―Y
③ い―X
④ い―Y

問２　２班は，北京に興味を持ち，清代の北京の地図である**図２**と，18 世紀に北京を訪れた宣教師の記録である**資料**とを見つけ，**メモ２**を付けた**パネル**を作った。この**パネル**について，**パネル**中の空欄 [ウ]・[エ] に当てはまると考えられる**資料**中の語句の組合せ**あ**・**い**と，そのように考える理由として最も適当な文Ｘ～Ｚとの組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 [11]

パネル

図２



資 料

北京は二つの区別された区域からなっていた。一つは韃靼(だったん)人の区域，もう一つは漢人の区域であった。韃靼人の区域には，韃靼人たちと，韃靼人ではないが，韃靼人の軍隊を構成する八つの部隊に登録された者たちとが住んでいた。漢人の区域は，漢人だけが住んでいた。

メモ２

・**図２**中の「紫禁城」は，皇帝の宮殿区画を指している。

・**資料**中の「韃靼人」は，清を建てた民族を指していると思われる。

ウ ・ エ に当てはまる語句の組合せ

あ　ウ―漢　人　　　**エ**―韃靼人

い　ウ―韃靼人　　　**エ**―漢　人

そのように考える理由

X　この王朝は，漢人の服装や言語を採用する積極的な漢化政策を採ったので，彼らを皇帝の近くに置いたと考えられる。

Y　この王朝は，皇帝と同じ民族を中心とした軍事組織を重用したので，彼らを皇帝の近くに置いたと考えられる。

Z　この王朝は，奴隷軍人を軍隊の主力として重用したので，彼らを皇帝の近くに置いたと考えられる。

① あ―X
② あ―Y
③ あ―Z
④ い―X
⑤ い―Y
⑥ い―Z

問３　３班は，南アフリカ共和国の都市ケープタウンに興味を持ち，1991 年のケープタウンにおける使用言語の分布を示した**図３**と，それぞれの言語話者の構成を示した**表**を見つけて，**メモ３**を作った。**図３**，**表**，及び**メモ３**から読み取れる事柄や，歴史的背景として考えられる事柄を述べた後の文**あ**～**え**について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 12

図３

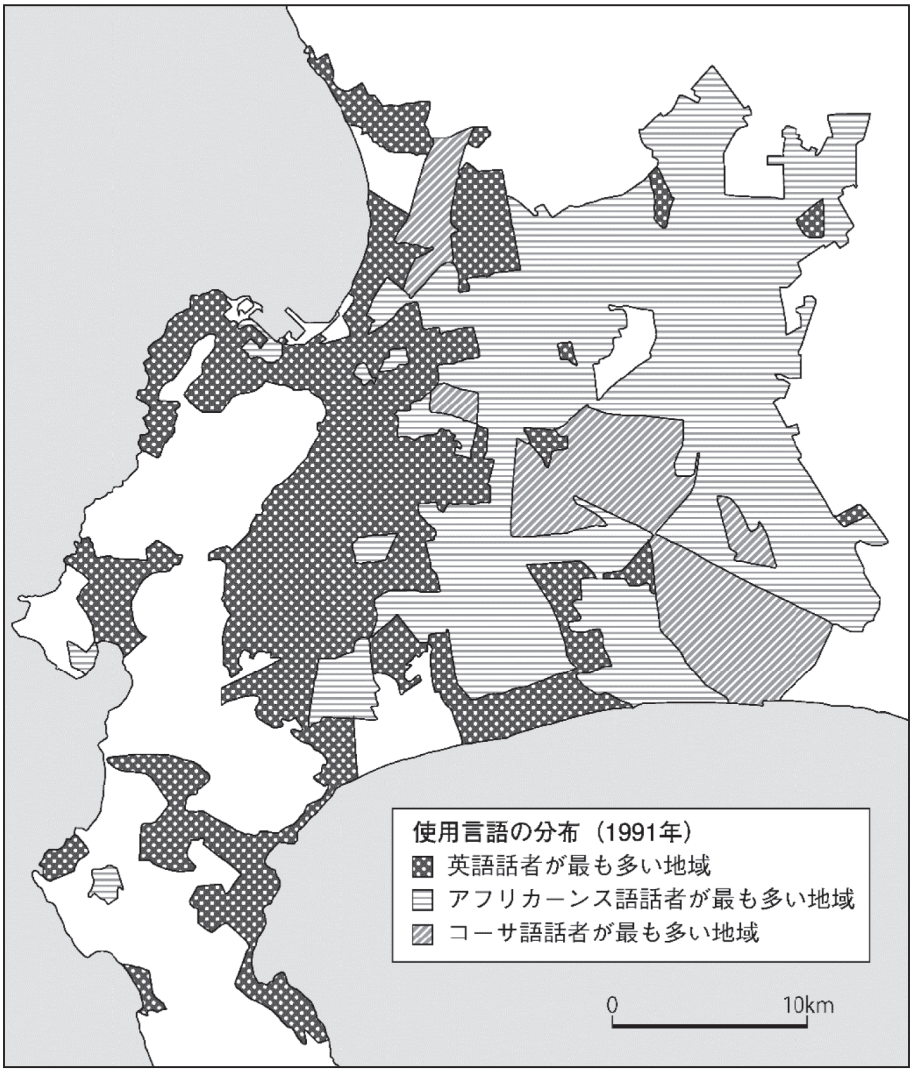


表　それぞれの言語話者の構成(1991 年)

	英語話者	アフリカーンス語話者	コーサ語話者
白　人	49.9%	19.7%	0.02%
黒　人	0.5%	0.2%	99.80%
カラード	46.3%	79.6%	0.10%
インド人	3.3%	0.5%	0.10%
計(注)	100%	100%	100%

(I.J. van der Merwe, The Urban Geolinguistics of Cape Town, *GeoJournal* 31-4, 1993 より作成)

(注) 四捨五入のため，合計は必ずしも 100% にならない。

メモ３

・アフリカーンス語は，オランダ語に現地語が混合してできた言語である。
・コーサ語は，アフリカ南部の言語の一つである。
・カラードは，「有色」という意味で，初期の白人移民と奴隷や先住民などとが混血して形成された集団である。
・アパルトヘイト期のケープタウンでは，法律によって，白人，黒人，カラード，インド人の４つの集団ごとに居住区が指定されていた。

あ　英語話者が最も多い地域は，18 世紀までに**図３**に見られる範囲に広がっていたと考えられる。

い　英語話者の中には，アパルトヘイトによる隔離の対象になっていた人々が含まれていると考えられる。

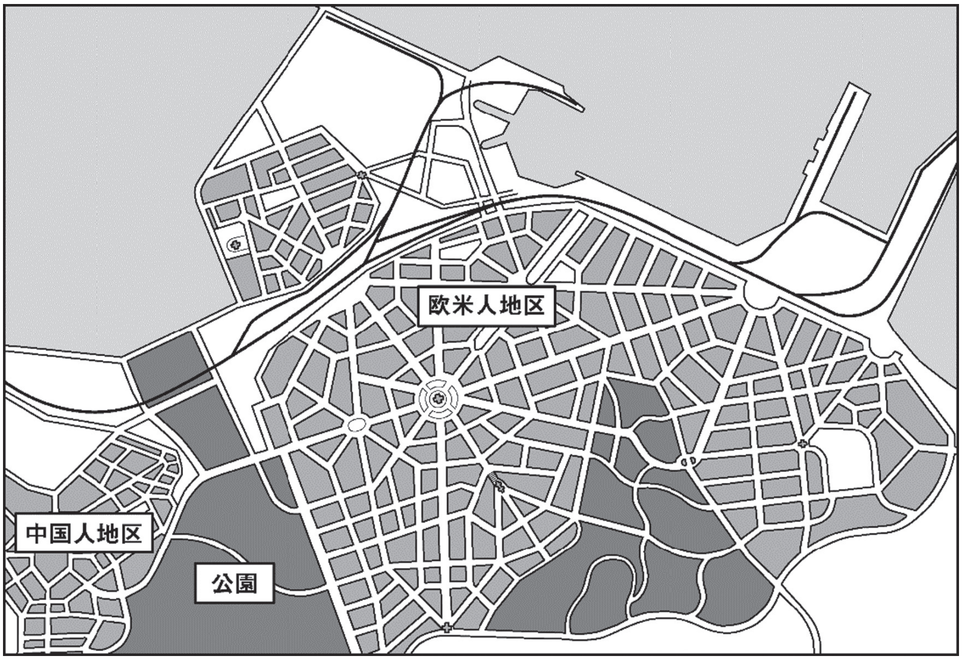
う　アフリカーンス語話者のほとんどが白人であり，コーサ語話者のほとんどが黒人である。

え　コーサ語話者が最も多い地域は，英語話者及びアフリカーンス語話者が最も多い地域よりも狭い。

① あ・う　　② あ・え　　③ い・う　　④ い・え

問４　各班の発表後，先生が，日露戦争前にロシアが作成した大連の都市計画を表した**図４**とその**説明**を示した。それを基にして，生徒の渡辺さんと菊池さんが，**図４**の大連の特徴について**図１**～**図３**と比較し，分類を試みた。**図４**の大連をどのように分類するかについて述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。　13

図４



説　明

大連は，パリの都市計画を模範にして，大きな広場から放射状に大通りが延びるよう設計された。広場のある中心部には欧米人の居住区が，公園を挟んで中国人の居住区が，それぞれ設けられる予定だった。

渡辺さんによる分類

あ　イスタンブル　　　　　　　　**い**　北京，ケープタウン

菊池さんによる分類

う　イスタンブル，北京　　　　**え**　ケープタウン

①　渡辺さんは，住民ごとに居住地域が区分されていたかどうかで分類しているので，大連は**あ**に入る。

②　渡辺さんは，住民ごとに居住地域が区分されていたかどうかで分類しているので，大連は**い**に入る。

③　菊池さんは，王朝の首都と列強の国外拠点とに分類しているので，大連は**う**に入る。

④　菊池さんは，王朝の首都と列強の国外拠点とに分類しているので，大連はいずれにも該当しない。

第 2 講　2025年度 試作問題 第 2 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号(配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 2 問 (13)	1	10	1	3
	2	11	5	3
	3	12	4	3
	4	13	2	4